



Answer

小学生の息子を預けている祖父母が

しつけに甘すぎます。どうすれば？

Question 2

共働きのため、祖父母宅に小学生の息子を預かってもらっています。宿題も見えてくれるのですが、テレビゲームのやらせ放題など何か

につけて祖父母は「まあ、いいじゃないの」と甘いのです。教育方針が異なる場合、どうしたらいいですか。
(30代前半・母親)

日頃からコミュニケーションを大切にしておきましょう。多少の育て方の違いはあっても、子供にかかわる大人の信頼関係が損なわれないことが大切です。

■まずは感謝を表す

多くの祖父母は、「孫には無条件に与えたい」ものです。子供を育てるといふ責任がなくなり、可愛さが増して孫に甘くなってしまうのかもしれない。預かってもらう以上は、ある程度お任せしたほうが相手もやりやすく張り合いも生まれます。祖父母の中には、ようやく自分の時間が持てるようになった

と思っっている方もいます。「孫は来てうれしい、帰ってうれしい」という言葉も、まんざらウソではありません。

孫が来るのは大歓迎でしょうが、「預かって頂くだけで十分」という感謝の気持ちも忘れないで言葉で伝えましょう。

■祖父母に相談する姿勢で

次に、お願いしたいことは「相談する」という姿勢で話をしてみてはどうでしょうか。それは、日頃から意思疎通できるようにコミュニケーションをよくしておくことが大切です。

何か問題が生じてから話し合

うと、感情的になることがあります。お互い気持ちに余裕があるときに、親として子育てについての悩み、例えばゲームや高額のプレゼントなどについても相談しておきましょう。子供の教育に責任を持っているのは親ですから、祖父母も耳を傾けてくれるでしょう。

ゲームを1時間なら1時間と決めても、釘をさすのは子供に對してです。「おばあちゃんの言うことを聞いてね」と子供によく話しておきます。

大切なのは大人の信頼関係です。考え方の違いが多少あっても、「郷に入っては郷に従え」と子供なりに学ぶ知恵があります。それに親の姿から「年長者を敬う」という大切なことを学んでいるかもしれない。